

海外安全対策情報第2四半期（7月～9月）

1. 社会・治安情勢

6月上旬に大規模な抗議デモを引き起こした統一個人ID番号法改正は、7月18日にBH下院によって採択されたものの、BH上院の反対により同法案の改正が妨げられている状況である。6月以降は本件に関する目立った抗議デモは発生していないが、現在の状況が長期化すれば、今後また抗議活動が再発する可能性も考えられる。

一般治安情勢については、国内で強盗事件や発砲事件がほぼ毎日のように発生しており、手榴弾等による爆破事件も散発的に発生している状況である。また、窃盗事件は特に多く、日本人観光客及び在留邦人がサラエボ市内及びモスタル市内の観光地でスリ被害に遭う事案も発生しているため、滞在中は十分な注意が必要である。

2. 邦人被害事案

7月上旬、午後5時頃、在留邦人がラテン橋を渡っていたところ、突然3人のジプシーにとり囲まれ、カバンの中にあった所持品をまさぐられ、奪われそうになる事件が発生。同邦人はなんとか現場から逃れ、怪我等もなかった。

※この他、7月～9月の間にモスタル市内の観光地である旧市街で、パスポート等の貴重品を盗まれる窃盗事件が3件発生している。

3. 邦人以外の被害事案例

- (1) 7月上旬、午前8時45分頃、モスタル市内で拳銃を所持した覆面の男2人組が湯便局員を襲う強盗事件が発生。犯人らは郵便局員が所持していた現金約20,000KMを奪って逃走した。
- (2) 7月上旬、夕方、ノボ・サラエボ内にあるミニマーケット「Mercator」で拳銃を所持した覆面の男による武装強盗事件が発生。犯人の男は現金約2,000KMを奪って逃走した。
- (3) 7月中旬、午前8時頃、バニャルカ市内にある郵便局でライフル銃を所持した覆面の男3人組による武装強盗事件が発生。犯人らは多額の現金を奪って逃走した。
- (4) 8月上旬、フェルハディア通りにあるカジノ「Astra」で拳銃を所持した2人組の男による武装強盗事件が発生。犯人らは現金を奪って現場から逃走した。
- (5) 8月上旬、旧市街バシチャルシヤ内にあるカフェ「Casablanca」で10代の若者がガス銃を発砲する事件が発生。目撃者によれば、犯人の若者と他の客との座席を巡るトラブルが原因とのこと。
- (6) 8月中旬、午前9時20分頃、サラエボ国際空港前の道路でバットを所持した2人組の男による車両強盗事件が発生。犯人らは被害者の男性から現金及び車両（Audi

A6) を奪って逃走した。

- (7) 8月中旬、サラエボ市内でオーストラリア人旅行者数名が強盗被害に遭う事件が発生。同旅行者はキャンピングカーを市内に駐車していたが、不在時に強盗に入れ、ラップトップやビデオカメラ等の電子機器類の他、現金、クレジットカード及びパスポートなどが盗まれた。オーストラリア領事館によれば、観光シーズンが始まって以来、20人以上のオーストラリア人が強盗被害に遭っているとのこと。
- (8) 8月中旬、午前4時頃、バニャルカ市内にあるガソリンスタンドで、覆面で拳銃を所持した2人組の男による武装強盗事件が発生した。犯人らは現金約1,350KMを奪って逃走した。
- (9) 9月上旬、夕方、モスタル市内のミニマーケットで拳銃を所持した男による武装強盗事件が発生。犯人は現金約700KMを奪って現場から逃走した。
- (10) 9月中旬、フェルハディア通りにあるカフェ「Korzo」でエジプト人が窃盗被害に遭う事件が発生。被害品は不明。

5. テロ・爆弾事件発生状況

- (1) 7月上旬、午前3時30分頃、バニャルカ市内の路上で爆破事件が発生。この爆発により路上に駐めてあった10台の車両が損傷し、付近のアパートの窓ガラスが割れる等の被害が発生した。けが人はいなかった。
- (2) 8月上旬、午後11時頃、サラエボ市内中心部のホテル・セントラル付近にあるカフェ店「Cheers」前で何者かが催涙弾を爆破させる事件が発生。このカフェ店で催涙弾の爆弾事件が発生したのはここ2ヶ月間で2度目。
- (3) 8月下旬、午前4時20分頃、サラエボ市内ノビ・グラード地区にあるカフェ店「Miami」前で、正体不明の男が手榴弾を爆破させる事件が発生。この爆発により建物に損害が生じたが、けが人はいなかった。
- (4) 9月中旬、深夜、バニャルカ市内の駐車場で手榴弾による爆破事件が発生し、運送会社「Top Tourist」の所有するバス数台が損害を受けた。この事件の3日前にも別の場所で爆破事件が発生しており、11台の車両が損害を受けているが、警察によれば両事件は関連していないとのこと。

6. 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。